

平成27年発生

国土交通省所管公共土木施設災害の状況

二級河川 稲荷川 (鹿児島県鹿児島市下田町)



↑
6/2~6/12の梅雨前線豪雨による被災直後



↑
完成後

平成29年1月

鹿児島県土木部

目 次

I 災害の概況と対策

1	概況	1
2	災害対策の促進	1

II 異常気象別災害の概況

1	平成27年発生 of 異常気象別災害状況 (決定額)	2
2	主な異常気象別決定額内訳	2
3	平成27年発生災害地域振興局等別・工種別災害報告額	4
4	平成27年発生災害工種別決定額	4
5	平成27年発生災害の査定申請額及び決定額 (地域振興局等別・工種別内訳)	6
6	平成27年発生災害の被災原因別・工種別分類 (県・市町村別内訳)	8
7	災害異常気象別・地域振興局等別決定額	12
8	工種別工事規模別分類表 (決定額)	32
9	市町村被災原因別分類 (決定額)	34
10	平成27年発生災害の市町村別査定申請額及び決定額	58
11	実査・机上別分類	70
12	失格箇所調	70
13	欠格箇所調	70

III 平成27年発生災害の改良復旧事業

1	改良復旧事業	71
---	--------	----

IV 異常気象の概況

1	異常気象別各地の降雨状況	72
2	気象概況と出水の状況及び一般被害	78

V 参考資料

1	平成27年発生公共土木施設災害復旧事業査定日程表及び班編制	193
2	激甚災害に係る特定地方公共団体調べ (平成18災～27災)	197
3	平成27年発生災害に係る市町村別事業費及び国庫負担率	198
4	過去10年の公共土木施設災害復旧事業査定結果	199
5	過去10年の公共土木施設災害復旧事業決定額	201
6	過去10年の公共土木施設災害復旧事業箇所数	202
7	平成27年発生災害公共土木施設災害復旧事業地域振興局等別決定額	203
8	平成27年発生災害公共土木施設災害復旧事業地域振興局等別箇所数	204
9	平成27年発生災害の決定額及び比率	205

は し が き

平成27年は、全国では台風18号等の影響により記録的な大雨となった「平成27年9月関東・東北豪雨」が発生し、鬼怒川(茨城県)、渋井川(宮城県)等の堤防決壊や越水等により、死者8名、約12,000棟にもものぼる甚大な浸水被害が発生したほか、7月の台風11号による徳島県阿南市での浸水被害など、大きな被害を伴う災害が各地で発生しました。

本県では公共土木施設が被災した異常気象は、梅雨前線豪雨や台風による被災など計20回発生しました。

特に、6月の降雨量は、県本土を中心に各地で史上最多を記録し、薩摩地方南部から大隅半島にかけては、平年の6月降水量の3倍に達し、河川や道路に大きな被害をもたらしました。

垂水市二川深港では6月から8月にかけて7回にわたり土石流が発生し、深港川が埋塞したほか国道220号が通行止めになるなどの被害が発生しました。また、5月に屋久島町の口永良部島新岳で爆発的噴火が発生し、島内住民及び滞在者合計138名が屋久島に避難したほか、8月の台風15号により三島村の黒島で家屋被害が多数発生、さらに港湾にも大きな被害が発生しました。

平成27年災の査定決定金等は、合計で347箇所 5,093,799千円となりました。梅雨期の降水量が県本土では平年に比べ2倍以上とかなり多かったものの、年間では箇所数ベースで過去5か年平均の三分の二程度と少ない結果となりました。このうち金額ベースで梅雨前線豪雨によるものが39.5%、台風によるものが35.3%と平成27年災のほとんどを占めました。

復旧状況は、被災箇所の早期復旧に努力を重ねた結果、平成28年3月末までに、決定箇所においては全体の62.8%に当たる218箇所、平成28年12月末までに97.4%に当たる338箇所が完成しています。

本県は、災害を受けやすい地理的、気象的諸条件下にありますが、「安心して生活できる鹿児島、防災で日本一に！」を目指し、ゲリラ豪雨や台風などによる自然災害の未然防止に努め、また、災害が発生した際は、速やかな災害復旧に努めることとしております。

ここに、平成27年発生 of 国土交通省所管公共土木施設災害の状況を収録しましたので、今後の防災及び災害復旧の参考にしていただければ幸いと存じます。

最後に、8次にわたる災害査定に際して、ご指導、ご協力をいただきました国土交通省の査定官、検査官、事務官及び財務省の立会官各位ならびに災害復旧にご尽力いただいた関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成29年1月

鹿児島県土木部長 久保田 一

